

通信 おおつき和弘

発行：平成22年1月 相模原市議会議員 大槻 和弘 228-0817 相模原市相模5-5-20 TEL 042-769-8327 FAX 042-750-8814 (議会控室)



平成21年のあしあと

厳しい経済状況が続く中で明けた平成22年。穏やかな天候に恵まれた年越しとなりました。この穏やかな天候のように皆様にとってこの一年が平穏で幸多いものとなることを祈念しました。さて、昨年の議会活動の一部をダイジェストで報告させていただきます。

新

市議会改革！新会派「創史会」を結成！

1月、新しい市議会に向け議会改革に前向きな議員で、新会派「相模原市議会 創史会」を結成。会長に就任した。市長提出議案に対する審査能力の向上と共に、政策的条例の積極的な提案等、議員の主体的な政策活動実現をめざして、現在「公共政策スクール」を開講し、一丸となって研究活動を推進しています。



左から、河本副会長、大槻、松沢県知事、古内幹事長、八木政調会長



1月、松沢神奈川県知事を県庁に訪問し、新会派結成の挨拶と、県市に関する事項についての意見交換を行なった。

相模原市の政令指定都市移行推進について松沢知事から直接話を伺うことができ、移行推進への協力を再確認することができた。知事は、政令市選出県議会議員の役割や議員数についての議論の必要性や、「県受動喫煙防止条例」(禁煙条例)について語られた。

視

広い視野で先進事例を生かす！



妊婦のたらい回しや、無受診出産など課題の大きな産科救急に、電話相談体制を確立した札幌市を視察した。

助産師による救急電話相談の状況を確認し、課題などを具体的にお聞きした。

札幌市では、テレビなどの報道機関と連携し施策の市民周知を図っている。視察当日も道外からの視察と言うことで、札幌テレビの取材があった。(6月の一般質問に反映)

まちづくりを地域と共に！



祭

地域の夏まつりが各地で開催された。私も参加させていただき、少しだけ趣味の和太鼓をたたく機会や、親睦を深める機会を提供いただいた。関係の皆様へ感謝！

*議会ネット録画中継で、本会議場での様子をご確認下さい。(「相模原市議会」で検索)

*おおつき和弘ホームページのブログで詳細を報告。(「おおつき和弘」で検索)

6月 お年寄りにやさしいバス対策 不安のない救急医療体制の充実

私は、議員の権利である本会議や委員会の機会を最大限利用して、安全安心のまちづくりに邁進しております。6月の一般質問では、防災対策（住宅耐震化・下水道の耐震化）・救急医療体制の充実策・バス利用環境の整備について本市の対策を質しました。

① 防災：地震対策の キモは耐震化

- (1) 住宅耐震化の促進策について
住宅・建物の耐震化が最大の防災対策という考えが確立している。しかし、市民の地震への関心は今一つ低く、また、昨今の経済状況から耐震化は思うように進んでいない状況が伺える。そこで、住宅耐震化に向けた制度の充実が必要だ。
- 昭和56年の建築基準法改正以降に増築を行った住宅も、補助の対象に加えるべきだ。
 - 耐震診断および耐震改修工事への補助支援幅の拡充による市民の負担軽減と、耐震工事の創出による景気浮揚効果を考えるべきだ。
 - 高齢者や障害者は地震発生時に自力での避難が難しい。耐震改修補助金の加算による積極的な支援をすべきだ。
 - 大和市では、固定資産税等の全額免除により耐震化の促進を図っている。耐震化への誘導策として優遇税制の拡大が必要である。見解はどうか。
- (2) 公共下水道の防災対策について
○ 被害に起因する重大な影響から、国は下水道の耐震化を求めている。市長の下水道の耐震化への考え方はどうか。
また、本市の下水道施設の耐震化をどのように進めるのか。

③ お年寄りにもやさしい バス利用環境の整備。

- (1) 駅周辺やバスステーションのバリアフリー化が進む中で、その端緒となるバス停の改良は高齢化の進捗という側面からも早急な改善が求められる。バス利用者の利便性の向上と乗降時間の短縮のため、乗降方式の統一やバリアフリー化を含めたバス停改修が必要と考えるが状況は。
- (2) バス停の上屋やベンチなどバス待ち環境の整備は利用促進にもつながる重要なものと考えますが、市の基本的な考え方および整備状況について伺う。
- (3) 既存バス路線の今後の見通しは。

② 救急車は来たけど なぜ出発しないの？

- (1) 救急車の適正利用に向けた対策について
○ 平成20年中に搬送された26,222人のうち53.7%が軽傷者であり、中には救急車の正しくない利用と考えるものも含まれていると考えるが、本市の救急車の適正な利用に向けた啓発活動などの取り組みはどうか。
- 現場での搬送トリアージなど具体的な抑制策はどうか。
- (2) 市民にとって不安のない救急体制の充実のために、救急電話相談体制が必要だ。相模原救急医療情報センターの機能の充実や、救急安心センターなどの新たな体制の整備についての見解は。
- (3) 救急搬送の時間短縮に向けては、現場の救急隊員の活動時間の短縮と共に、受入医療機関の照会作業の効率化が必用である。実効性ある病院照会サポートシステムの構築を図る考えは。
- (4) 今後の救急医療の需要を見据えた救急医療体制の充実策は。

「バス停が怖い」を改善したい。



深壱バス停（東林間）
バス乗降時の歩道沿石の段差がお年寄りには危険。車椅子利用の方は、乗降できない。そこで、段差の切り下げ工事により、安全性を確保。

バリアフリー化のため整備する必要があるバス停は、市内全域で215箇所。病院、福祉施設、公共施設に隣接するバス停から整備。平成24年度までに完了する予定。



12月 危機管理！安全・安心の構築 BRT導入基本計画への対応

12月の一般質問では、前回に引き続き市民の安全安心の確保策としての、危機管理対策（危機管理室の設置・AEDの登録制度と設置位置情報の発信施策）、そして、昨年2月に基本計画案が発表されて以来計画ルート沿線から反対意見が多く寄せられた新しい交通システムについて本市の対応を質し、一部見直しとしました。

① 危機管理室：形だけで無く実効性が肝心！

- (1) 危機管理室の役割と体制について
 - 平成19年12月定例会において提案した危機管理室が設置される。本市の危機管理室の役割をどのように考えているのか。
 - 危機管理監には、他市では、副市長とするところもあるが、本市は局長級とする理由と権限はどうか。また、国から危機管理の専門家の登用や専門性の補完体制についての考えはないのか。
 - 全庁一体的な危機管理の組織体制の構築をどのように考えているのか。
- (2) 自治体業務継続計画（BCP）について
様々な危機に対応するためには、行動計画の作成と共に、事業継続計画いわゆる自治体BCPが不可欠だ、本市のBCPへの考え方や計画は、
- (3) 地域防災計画と個別計画について
都市防災基本計画の策定や災害廃棄物等処理計画など地域防災計画の個別計画ともいうべき計画は、きちんと位置付けていくべきだ。
- (4) 危機管理室の市民にとっての具体的メリットは、

② AEDは、どこにあるの？（情報発信）

- (1) AEDの設置状況と拡充策について
 - 本市の公共施設におけるAEDの設置状況や今後の設置計画は。また、設置拡充の補助制度の周知方法、補助対象件数や実績は。
- (2) AED登録制度導入・AEDマップの公開
民間のAED設置の把握状況は。また、AEDの登録制度の新設による官民のAED設置情報の一元化の考え、マップの公開は。
- (3) 他市では携帯電話GPS機能を利用した携帯モバイル版AEDマップの公開を行っている。現場ですばやく検索できるモバイル情報の整備が必要と考えるが見解は。
- (4) 本市の救急指令センターでは、119番通報の受信時にAEDの使用が必要な場合、最寄りのAED設置場所を案内していると聞いている。どのような情報を提供しているのか。

③ 新しい交通システムと南区の交通課題の対策

- (1) 旧市の南部地域の交通課題は、政令市移行後の南区にとっても、一番大きな課題である。今後区民会議においても議論されべきものであることから、政令市へ移行する前までに、地域住民との信頼が回復される必要がある。見解は。
- (2) 麻溝地区新交通システム促進協議会より新しい交通システム早期実現についての要望がある。市長は、「地域の交通課題に対しては、早急な対応が必要であり、他の鉄道駅への結節など、早期に実施が可能な方策や可能性について検討する」と答弁されている。既存道路を利用して古淵駅へのルートが現実的と考えるが見解は。
- (3) 一方で、新しい交通システムを導入する、しないにかかわらず、南部地域の交通課題は、着実にその解決を進めていかなければならない。南部地域の交通課題、具体的には、整備が一向に進まない都市計画道路、交差点改良、歩道整備などにどのように取り組んでいくのか。

相模原市のBRT計画



市長 現行「早期導入は困難」

相模原市は、政令市移行後の12月17日（日）に、旧市域の南部地域にBRT（バス快速交通）を導入する計画を発表した。市長は、現行の計画では早期導入は困難と見解を示している。

市長は、BRTの導入は、市民の安全安心の確保に資するものだが、現行の計画では、早期導入は困難と見解を示している。また、BRTの導入には、道路の整備や歩道の整備など、多くの課題があるため、早期導入は困難と見解を示している。

一部区間見直しへ

市長は、BRTの導入は、市民の安全安心の確保に資するものだが、現行の計画では、早期導入は困難と見解を示している。また、BRTの導入には、道路の整備や歩道の整備など、多くの課題があるため、早期導入は困難と見解を示している。

相模原市議会 平成21年12月定例会 大槻和弘 一般質問項目

おおつき和弘3年経過 公約実現にまっしぐら。



私は、下記の選挙公約を掲げ議員に就任いたしました。
現在この公約の実現に向けて活動を推進しています。これまでの活動を検証いたします。

- 1** **相模原をほっとけない。今こそ責任ある政治を！**
- 2** **市民主権を守る**

市民が真ん中の政令指定都市
◎ 自分運のまちは自分運でつくる
特色ある地域の発展を推進できる政令指定都市への移行。都市機能の一体的な整備や徹底的な行財政改革の推進等による市の体力強化、市民への情報公開により、市民が納得できる政令指定都市移行を推進し、市民にとって魅力的な相模原を創造します。
- 3** **生命財産を守る**

災害に不安のないまちづくり
◎ 日本一安全な「防災都市さがみはら」
大地震から、市民の生命・財産を守るために、行政の「公助」の範囲を明確にし、市民との役割分担を見極め「共助」で災害対策を進める必要があります。国の推進する大都市大震災軽減化特別プロジェクトの導入で、災害対応型防災活動を強力に推進します。
- 4** **子ども達を守る**

子どもたちに、確かな未来を
◎ 地域安全ネットワークの推進
子ども達の安全確保のために、行政・市民・団体相互の一体的なネットワークづくりを推進します。
◎ 無添加給食の推進と食材の地産地消
学校給食には無添加食材の導入を推進し、子ども達の食の安全を確保します。食材の地産地消を推進。
- 5** **お年寄りを守る**

お年寄りにとことんやさしく
◎ 老後をいきいき楽しく
お年寄り一人でも不安なくいきいきと暮らせ、いつまでも楽しく活躍できる仕組みづくりを進めます。
◎ 人にやさしい道づくり
歩道整備やバリアフリー化、生活道路の安全確保で、お年寄りや子ども達が安心できる道づくりをします。

1 議会改革を進める政策議員の結集を目指し平成21年1月に新党派「相模原市議会創史会」を結成、会長に就任。
議員立法の実現のため政策立案能力の向上と、透明性の高い政治を推進。



- 2** **実現**

●2009年3月定例会 代表質問
政令指定都市移行の具体的なメリットや不安についての説明責任。出張所のサービス確保区役所の機能を充実させる都市内分権の推進。
- 3** **実現**

●2007年12月定例会 一般質問
危機管理組織の設置と危機管理監の配置。新地域防災計画の策定。災害支援協力体制。防災ひとづくり策。避難所運営体制の構築。
- 4** **実現**

●2008年6月定例会 一般質問
住宅の耐震化促進策。小中学校等公共施設および病院等「特定建築物」の耐震促進策。

●2008年9月定例会 一般質問
災害時に凶器となるブロック塀の耐震対策。危険ブロック塀の耐震改修補助制度の充実。米軍相模原住宅地区外周壁の安全性確保策。

●2009年6月定例会 一般質問
住宅の耐震化補助対象の拡大。公共下水道の防災対策。救急電話相談体制の整備。
- 5** **実現**

●2007年6月定例会 一般質問
小学校児童の見守り団体設立の現況と対策。学校施設のバリアフリー化。肢体不自由児童への支援。修学旅行ヘリフト付きバスの導入。
- 6** **実現**

●2009年12月定例会 一般質問
新しい交通システム、南区の道路交通対策。

実現 新党派「相模原市議会 創史会」結成 議会改革、議員の立法力の向上をめざす。

* 議会ネット録画で、本会議場での様子をご確認下さい。（「相模原市議会」で検索）
* おおつき和弘ホームページのブログで詳細を報告。（「おおつき和弘」で検索）